

バストス週報

第三百七十二号
昭和三十三年
五月廿日
発行
DIRETOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS, 188
C. P. 112
BASTOS
C. P.
ANUAL
100\$—

學問の政治への追隨

江原直之

ルイセンコ説がメンテリスム (Mendelism) 支配的になつた背後には、それが遺伝を司る遺伝の単位として不変性の遺伝性を考へてゐるメンテル学派に對して、可変性に重点をおき、そのために固定性な不変性を嫌う所の非証法的唯物論の味方を得たといふことが大いにあづかつて力がある。

二十世紀の遺伝学会に最大の波紋を投じたと言ふ可きソ聯農業學士院總裁の職にあつたルイセンコ氏の學說とは何であらうか？ 又彼が世界の學者によつて注視、批判の焦點におかれたのは、果してその學說がそれであつたか？ 學問の自由、真理への誠実なる探求に國家の政治力が結びついた例は決して一指に限らなからず、然し二十世紀の文明社会に今尚マヒルの暗黒に似た悲劇が演ぜられようとは、ソ聯といふ唯物万能の世界に於ては、まづ起り得ないと思つて居るのは筆者一人では限りませぬ。

遺伝とは多くの世代を通じて植物が同化した外界の狀態の結晶である、即ち遺傳的環境によつて次第に変化する。即ち後天的獲得形質は遺傳する。生命とは物質代謝の換言で遺傳性とは物質とがいう差別は存在しない。此の恐るべき逆説は従来の染色體説を否定し、遺傳學をその根元から覆へさへした革命的な見解と云えよう。當然世界の學界ではこれの批判にのり出し、日本に於ては一九四七年十月松本に於ける日本遺傳學界に於て高梨洋一氏の解説を皮切りに、東大佐藤重平博士、佐研田中義啓博士、全駒井卓一博士の痛烈な批判論争は民主主義學者協會の學者と眞向から對立したのである。

此處に面白いのはスルンド (基礎學) が無くアッフリケイト (応用) の面だけに終止したミチウリリンが園芸家として大なる業績をなれど、これに追隨した、ウクライナ生れの小才のある薄馬鹿のルイセンコが確率の計算すら出来ず、ちやち

Alfaiataria Imperial
T. Maruyama



ヨウクフの 美しいは
ヨコからみた姿です

洋服は丸山へ
御用命

クラリオネット
さぶく彼氏の
ホーズ



おなかのぐあい
すこしでも おかーいと
おもわれますときは、とり
あえず ニツホンの わか
もとを、めしあがつて、く
ださい 百発百中！
けんこうは、わかもとかう、
製造元東京わかもと製菓株式会社
柏園総代理店
聖市パワリスト製菓会社

WA KA MO TO
わか かせ と

日本の
この程バストスへも、新入荷いたし
ました。ササキ 各薬局
ニシカワ、イタガキ

な実験でメンテルの分離の法則を否定し、染色體が廿八の硬質小麥から染色體四十二の軟質小麥を確花処理で作ったと発表するに到つては、木原均博士は「わすもがな、最早論すべく問題外の世界を等しい論説が何故世界の學者に取り上げられ、今尚系を引くに到つたかは、前記のようにならざるやある。ルイセンコは農業科学アカデミーの總會開会に演説し、ワイスマン、メンテルを「ガン」の遺傳説は西欧アルジャ國に於て達した觀念的及動的處座であるとし、之に對しミチウリリンの學說は唯物論的進歩的だと述べた。そして

ソウエイットの従来の遺伝学者が後者をな
 いがしろにして前説を信奉し、その上二
 下従つて作物改良等の事業を實行し未だ
 たため成績が更に著わらなかつたと指
 摘したのである。尚この派の学者として
 残存するシヌコルハワセン (I. I. Shuklakov)
 ザワドウスキー (B. M. Zavadovsky) ヲジツク
 (A. R. Zhebrak) ヲコニン (M. P. Dubinin)
 等の名を挙げ、痛烈に非難し、終には、
 ソビエットの生物学者はミカリン派学
 説のみが科学的学説であり、ワイスマン
 派の後天性遺伝を認めないものは論ずるに
 足りないものであると断定する。ミカリン
 がアカネミシはミカリンの教えを發達さ
 せることに努力しなればならぬ。ミカ
 リンがたがためには、吾々の大師匠たる
 ミカリンに對する關心に習ふことを要する
 と結んだ。

此の科学の背徳者は全人類の背徳者
 共産党中央委員会の御オホエめでたく
 一九三〇年頃より、その職責の力とパツ
 クボーンの有力な支持を得、一方ロシア
 の世界的遺伝学者、即ち正統派は次々と
 失脚し、レカイツキー (G. A. Leavitsky) カルパ
 ケエンコ (G. D. Karpehanko) ヲジツク
 (S. Levit) ケルキス (J. J. Kerbis) トラ
 ーフ、レソウスキー (N. G. Trunovskiy) トラ
 ヲジツク (M. I. Trunovskiy) が一九四〇年が
 シアの旅先で捕えられ、東北シベリアに
 送られ、その地の収容所で二年後に死
 したのである。

現在生きのこつてゐる正統派の学者は
 セブラツク、ジニコフスキー、アリハニアン
 等二、三人の人達だが所罰を恐れる余り
 共産黨員として残された唯一の道なる自
 己欺満とミニエリン説肯定により生き永
 らえてゐるのである。

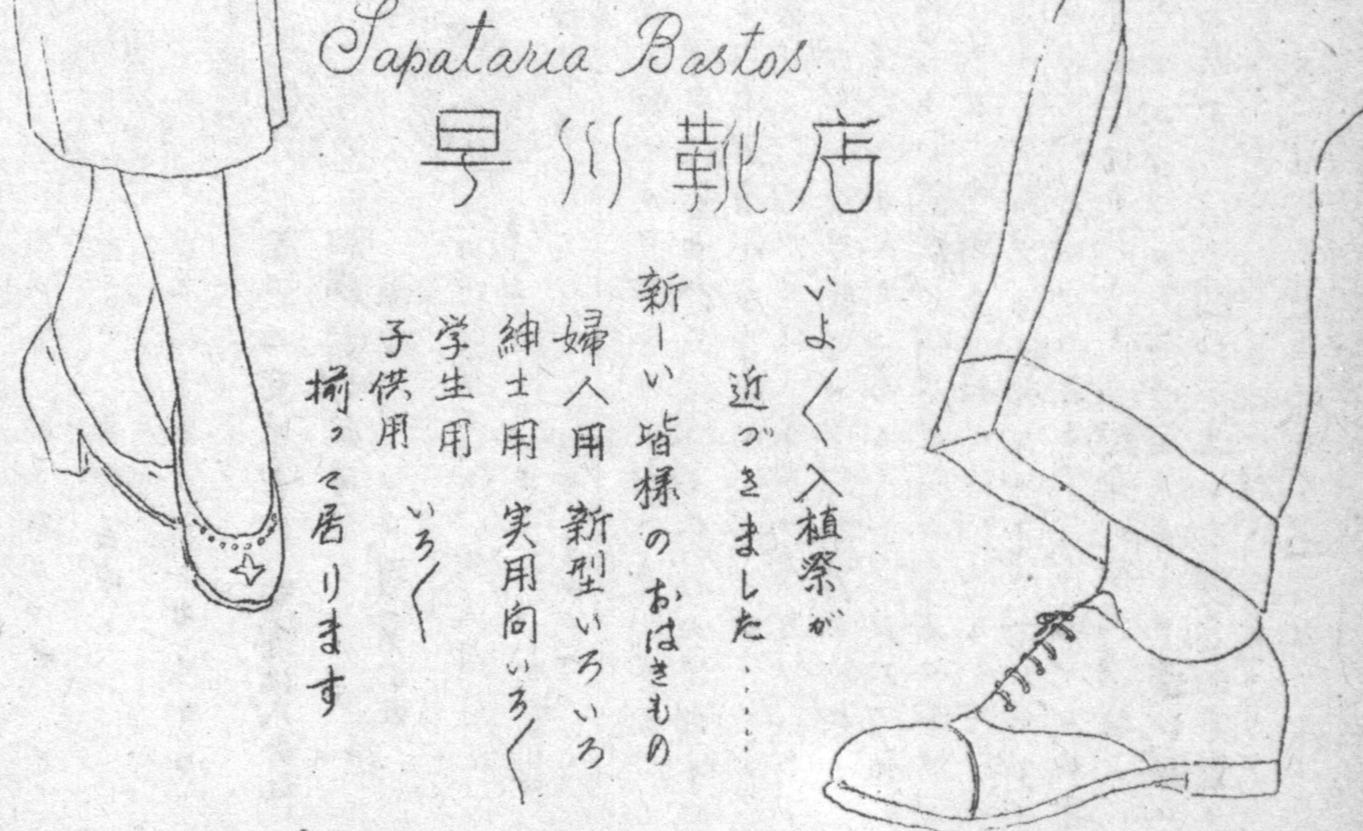
宗教裁判に於けるかのコペルニクスの
 如く「だが地球は動くし星の筋金の通。
 た科学者は生き永らえ得なかつたのであ
 る。フランソワのルイ、パスソールの薇紐
 蘭の眞理の骨定と共に氷解し、当時のフラ
 ンスは勿論全人類の福祉をもちたらず偉業
 をなし遂げさせたのである。

世界の獻知 (エッセイ) は世界全人類の財宝で
 あり共有恩恵の福利であらねばなるまい。
 そこには國境も無く、まして一國家の政
 治等は論外中の論外たるは当然のことであ
 る。

人間の頭腦の限界は限られたる最高の
 智能の交流で未知の分野を切り開く可く
 宿命づけられて居る。眞理は飽く迄も正
 しく純正なる神の攝理を遵奉して、その
 より所を決すべきものでなければならぬか。

2
 30-MAY-57
 27-01/10-57

Sapataria Bastos
 早川靴店



いよ／＼入植者が
 近づきました……
 新しい皆様のおはきもの
 婦人用 新型いろいろ
 紳士用 实用向いろいろ
 学生用
 子供用
 揃つて居ります

少年を求む

年令十六、七才迄
 通学の便をあたえます
 なる可く通勤
 商賣に興味をもつ少年
 南米銀行支店向
 梶田商店

上クンよりつぐく
 筆者は JOURNAL OF HOW DUTY の一九五一
 七、八号のアメリカ遺伝学総会の決議文を終
 末に掲げて、この一節を終り度い。
 「ソビエト連邦共和国は遺伝学に關する官
 選の説が採用せられ、之に及する見解を表明す
 る者は思想自由の基本的權利すら認めら
 れない。又同様の方策が他の共産主義國で
 も採用されてゐるが、アメリカの遺伝学会は、この
 処置を不当と見とめ、如何なる科学の領域に於て
 も權力に設置された学説 (An Official or
 Theodor body of theory) が造られることに
 抗議する。」 (一九五七、五、四)
 (筆者ハ、スラ複製未技師)

歌 会 報

バストス歌会では去る五月十九日山本一男居において歌会發足當時御盡力下さった山本牧師を迎え七十八回例会を開いた。出席十名、欠席投稿四名、得点八はじり菊子、チエ、森。

高 点 哥

森

○ 久会はぬ友を迎へて我が部屋に
飾りのなきをふと淋しみぬ

はやし

○ 荒されて淡き香匂ふ菊畑に
再恨みつつ折枝を拾ふ

次点哥

千代子

○ 波の引く合間に小貝を急ぎ握る
この島に未だ童女の如く

菊子

○ 自他共に許す朝露もむさほれず
超高音の道所のラジオに

チエ

○ 清毒の準備とのえ待つ煙に
霧晴れずして小雨となりぬ

孤舟

○ 鍼灸の治療受けつつ観念の
眼とじめる魚我のたまゆら

和枝

○ 慰安日の今日クララントに立つ
木浅れ日にゆるき流れのせうくと

一男

○ 波を重ねて涙みとなりぬ
官能の強き場面のラストシーン

忠雄

○ 息殺りある隣席の人も
下詔へ

謹 告

「三十二年五月二日愈々神戸出港のクラ
ジル丸に乗船三日横浜入港、四日出港太平
洋上ロスに向って航行中、海路平穩愉快
本航路を続けて居ります。(中略)此の航
は六月十四日サントス入港、私のクラ
ル滞在は一ヶ月半と予定し、帰りは七月
三十一日サントス入港の商船モンテビテ
オ丸にと予定を立てました。
バストスへは六月末か七月上旬に二
日参りたいと存じておりました。上陸後ハ
ラナ、マントス、ロソのドラード市と視察を終
えてバストスへ入り度いと存じて居ります
がどうなるか未定です。皆様によろしく
仰つた元下さい、では拜顔の上書々、
以上は桑原翁がロスアンセルス寄港
直前認め投函したもので五月十五
日附となつて居ります (末書)

最近當バストスの薬價について最寄のどの町よりも高

價であるとの声があり、業者間では頭痛のたねとなつて居ます
そこで種々解剖研究を致しました処、どの薬局もフェアドが多く、失礼な話
ですが三年五年長期の掛となり、中にはその儘ムタンサレまじり入もあり
其の損害も数百コントに上り、その為の折角現金御買上のおとくい様に高値
で差上げる様な状態になつたものの様で恐縮に堪えませぬ
之れを改革するには、これまでのフェアドに区限りをつけ、旧フェアドを
一日も早く整理をしていただくより外、途はございませぬ。
○ そして来る六月一日は現金制とし、その代リドロガリア(薬品問屋)制定
のカタログによつて御買求め願うことに決定いたしました。
○ 何卒皆様の御協力を得まして、フェアドの習慣を一掃し、明瞭バストスの建
設繁栄に向つて邁進
致したく存じます。

各 位

- バストス薬局 佐々木 久 輔
- 中央薬局 西川 誠 一
- ウニオン 薬局 板垣 寿 勢 雄

老人病の話

山 人

子供が産れて歯がはえてくる迄授乳を
のけるが、この間の医学は乳児、哺乳專
問の PEDIATRIA と呼ばれる専門科の医者
が特に面倒を見てくれる。
又普通二、三才から十、十五才、色気が出
る頃までの病氣は小兒科医が専門であり、
段々大きくなつて溥青年、青年ともなれば
内科医、其他各科専門の医者が世話をして
くれる。又更年期もすかして頭髪に白毛
が増す頃ともなれば、老人病学 GERONTOLOGIA
という専門医学が産れてくる。これは天
國に無事に行きつゝ橋渡しの役目が專
門で、余り苦痛せずに行き道順を教えて
くれるが、何分にも身体が若輩にわら
るのでもたぬ、大学にはその講座すらない。
前口上はさておいて、一つ通俗医学に何
が老人病学かを説明するにとりしよ。
まずお互い下年をとりて一番目につく日
は顔である。若くは髪は白くなくなり、頭はハ
ケてくる。若い頃は黒々としたつやのあ
る頭髪がその毛根が衰弱してきて、栄養不
良になり出すと白色となりぬけ出す。即
ち頭髪がゴマシオやういになれば大分老
衰した一つの証拠であらう。
次に眼の方では老眼鏡をかけねば新聞
がよめなくなるし、老人性白内障とい
つて水晶体にすみが出て来て早期に手術
しなければ失明する人もある。耳では耳
硬化症といつて鼓膜の動脈が硬化するた
めに老人性難聴をうけた。耳鳴りがする。
歯科では総入れ歯をしないと食事ごと
ぬ様にもなるし、皮膚はツヤツヤしてい
たのがシワだらけとなつてくる。即ち皮
下に充滿していた脂肪層が年をとるとつ
れて消失したためで、アバタ、ホク口の
様な悪い斑点が皮膚に、特に顔と手に多
くあらわれてくるが、メラニン色素が反下
に沈着するため一種の老人になつた証
拠ともいえるのである。
血液循環方面では先ず動脈硬化とこれ
に起因する高血圧が一番老人病で注意し
なければならぬものである。慢性的に
は他の老人病は殆んどすべてが慢性的に
起つてくるのである。高血圧が原因する
脳卒中や脳充血、脳溢血は皆天國行のジ
ヤクト飛行機にのつたやうなもので、倒
れた瞬間にもう死んでいて、医者が来た時
には手のつけようのないことが多い。だ
ら五才の坂を越したら年が一歳は必ず
健康、血圧の高さを知らなければならない。そ
の最もよい例は昨年急死された君塚前大
使で毎月血圧を調べると同仁会に來て居ら

死七通知 並に 會葬 御礼

母トヨノ儀予ねて病氣静養中の処
突如病俄かに革まり、手當の申斐な
く五月二十二日午後十一時半七十
歳を以て他界致しました。依而翌二
十三日午後四時半自宅出棺バスト不
墓地に埋葬せられました。茲に生前の
御厚誼を深謝申上り厚知各位に御
らせ申上ります。
追つて葬儀に當つては御多忙中遠路
御いと申し無之御会葬下され、その
上御丁重な香華料、花輪等の御惠與
に堪へ御芳志の程誠にありがたく厚
く御礼申上ります。
実は一々御礼言上に伺ふ可きと二
三の慣例に従つて昨勝手茲に紙上
で失礼を省みず御礼の御挨拶申上ります
一九五七年五月二十四日

父 信太 龍太郎
次男 龍節 龍子
三男 龍千 龍子

親戚 塚本 安次郎
(長女) タツノ
坂口 俊雄
(三女) 艶子

友人 信太 兵治
信太 清
控野 勤
戸田 嘉七郎
小沢 勇
本田 正雄
大倉 重一

各 位

れたが、とても調子がよいので少しゴルフに無理をされたのがあの結末となったのであり、血圧が二百を突破している場合は先づ非常警戒の線をこえを危険地帯にあり、たえず自重する必要がある。又神経、精神病方面での老人病は、お互い辛をとるにつれて、記憶力減退という自然現象がおこり、それが老人になれはなる程カドツコになつてくる。

骨質骨髄学方面では脊柱の前かがみになつてくる。これは骨盤が体重の重さのため、前方がアシタイドになつてくるため、他方骨髄中で製造される血液の新陳代謝が弱くなるので自然と抗菌作用が弱くおこる。言いかえると身体抵抗力がにぶくなり病氣にかかり易くなる。内臓方面では癌細胞の出現が多くなり、肺に表われると肺臓癌、胃にくると胃癌、肝臓癌、直腸癌と各々出てくる。場所によつて徴候が異なり、先づ四十才以下では癌は現われないうといつてよく、その反対に老人になるほど多い。

最後に生殖器方面での老人病は子宮癌やセツゴ線癌の様な病的なものの外、生理的な自然現象として先づ性慾の減退を感ずること、性慾に対する興味が辛さとなるにつれてなくなつてくるのも性ホルモンの消失するからである。

英国の前首相チャーチル氏は現在たし、八十一歳の高齡にあると思ふがその長寿法に、よく食ひよく飲みよく寝る、中食後一、二時間の睡眠をとること、無二の保健法である。訪問した松下伝士に談話されたそのうであるが全くむべなるかと申上げたい。(この稿了)

御礼広告

金巻封

石母堂御礼封に当り退善、為ノ当会へ御寄贈下
サレ厚ク御礼申上ルマッス
昭和三十三年 五月二十四日
バスストス 佛教会

中央戸田奥三郎様

訂正

五月十日発行週報三十九号、イヌ寄附金第四回芳名発表中、ノウネ区合計金三三〇五十針とあるは、あまり合計金三三〇百五十針が正しいと見ます。婦人会台帳の方にあまりはありませんが、週報社の方で植字あやまりをしておりました。従つて累計の方にも百ミルのひびきがあることになりました。いづれ最後には、婦人会の方から総計の発表があります。右サウネ区よりのご注意により訂正致します。(週報社)

流つぼのよびみに冬の空が深く 稲妻
コスモスの色わけ揃いや我子二人 ついで

寺名改称御しらせ

拝啓日々御清栄の段慶賀至極に存上
申します。叔父先般佛教寺院振興の為
の彼岸講を設立致し、多数信者方の
御承諾を頂戴しましたので、運営組織
改善に着手し、先づ寺号を
イクレイジヤフジスタバスストス梵真
寺と改称し、運営経営体と
彼岸講と決定し、正規の登録を完
了致しました。

次いで左記役員に御承諾を願ひ、益々活潑に目的に向つて精進することになりました。何卒絶大なる御援助賜りますます。様謹んで御願ひ申上ります。

五月二十五日
イクレイジヤフジスタバスストス梵真寺
各位

総代 脇山シズエ 長橋キヨノ
太郎田スズ 磯谷夫人
京野夫人 八十山夫人
富吉勲策 西川統平
高簿勇造 大野清一郎
小谷虎市 寺岡熊市
世話人 講員 一同

寺院建立期成委員 末
寺院建立期成委寄附金保管人
岩橋茂太郎 吉日奥三吉
監査講員
岡本一二 池田佐次郎
中原一郎 小林平志

法務責任者 總務 小林平志
右の通り、運営上部署を定めて御願
い致したものであります。不動の
ものであります。此後、寺院育成の
為め、何事も平和裡に相談の上進行
致し度く存じます。
御礼の点は何かと御指示賜わす様
謹んで御願ひ申上ります。合掌
信者皆々様へ

中央運動場でひろいもの

去る五月五日運動会の日、橋の洋傘
ベルネ色子供ジャケツ、が運動場に
忘れてありました。重道商店に、かい
てありますから、とりて来て下さい。
バスストス 婦人会

大地に生える

サウホ区 島居俊介

一 雲

晴れた秋の空に一片の雲が流れて行く。西の丘から東の丘へ。彼はどこで生れどこに行くのか誰れも知らない。又何の爲めに生れて来たかも誰れも知らない。ただ一片の雲として大空をゆつくり流れて行くことは誰の目にも見える。

私は午後の憩いを見つめていた。そして流れ行く雲に似た唯一の人生の旅。というよりなことを考え見た。だが雲は私より強い。何故か彼は悲しくとも泣きはしない。又どんなことがあっても怒りはない。風が東から吹けば西へ行き、西から吹けば東へ飛ぶ。風のままた動き乍ら一語の不平等を言わない。だが私には彼が淋しそうに顔をこぼしているように見える。風が吹くたびに、破れる。その時空と思ひ出した様に深ぐんだふん。その時生れ故郷の山河を思ひ出したのである。

生れ故郷には私には多くの友達があった。その友達と毎日長い旅をした。それは青い海原ばかりだった。時々汽船が白い波を叩いて走っていた。白いかもめが「今日は」といつて訪ねられて来てくれたりした。そしてある時は高い山があったり、広い平原に牛が何百頭も居たり、その様な旅を毎日繰り返している内に友達が一人へり二人へり、いつのまにか私一人になってしまった。あの頃は私は幸福で友達と鬼ごっこしたり、友達と手をつないで飛んでいたのに、もう手をつなぐ友達もいない。暑い、太陽の下に歩くと、汗が流れて行く。衣服にも、汗が沁みこぼれて行く。私の姿にも、何かしら、はにかむようなものが、雲に似て流れて行く。流れて行く。私は一体何を求めれば良いのだろうか。幸福の二字は、何をいふのだろうか。人生に幸福以外に求め得るものがあるだろうか。だが幸福とはどんなものだろうか。幸福を見た人があるだろうか。否、その状態に在る人を見た人があるだろうか。私達が幸福な人と見える人に会って話合つても、やはり人生に對して持つ不平をきく。では幸福な人とはどんな人だろうか。金を溜めたり、のんびり暮らしている人達のことではない。私には何の目的で家族と別れたか、誰か一人、けるはる。フラジールでやってきたのか、流れて行く雲に似て、ただほんのりや、て来たのか。そして又雲の淡いた悲劇をくりかえす為めに。

二 慾望

フラジールには希望があり、夢があり、そして成功もある。成功とは何であろう。人間社会の限りのなす慾望の世界に成功という言葉が見えらる。より良い、より高き生活を求める。人生に、真の成功があるだろうか。否、人生に、より高き生活を望む以上、真の成功はあり得ない。なせならば、生活に真の満足が得られないで成功の二字はあり得ない。

NOSSA RELOJOARIA

AV. TAMOIOS, 785 TUPÃ



時計 貴金属 修理 アンソナなど
お求めの節は せし

時計店をおたづね
下さい

コンパニア テリトリアルドフラジール

賣出しの ジュキチーバ所 (三十五キロ地点)

大原始林 サンパウロより僅か百キロ!

州官報四月九日八六〇三頁で発表された通り

クリキバ行軍用道路いよく 本植民地の

中央を貫通いたします

地価は、早くも上昇をはじめました

土地御求めは一日も早い方がお徳です

一域から 木炭四千俵 (一五ニコント)

トリーラ六ナフコ (九〇コント)

楽々と取れ、土地代などお任せします

現在日本人三〇家族、伯人十五家族

そくく 入植中です

作物 珈琲 オルロン、バナナ 等万作ニ適ス

四千アルケール賣出し

地権カクジツ、セックタイベ配ナシ

いつても御案内いたしませう政一度

ご視察下さい

只今元のままの値段

バスターズ代理人

戸田源作

御 礼

金一封

右は故御主人勲様一周忌ミサのお印し

とて御寄贈下さいました、あつく御礼

申上げます

五月三十日

バスターズ 婦人會

角南まさよ様

五年、そして十年先は、自分のこの標になりたいと計画を立てる。それは非常に、大功なことだ。その計画に對して最大の力を以て進む。それが何より望ましいのであるが、人間そのものが未完成であるため、計画通りに行かず、いろいろの故障が起り、事故が出てくる。よしんば五年十年の後、その望を達したとしても、これでは自分は成功したと満足する人があるだろうか、より良き、より高き所を望むとしたら、一体人生をいかに生き、いかに幸福を掴むだろう。私はこう思う、人間はその時、その日に満足を得、今日一日を心豊かに送ることができたことに感謝し、明日も平和な一日を送れたい。まずようにと希ふ人こそ、真の幸福な人ではないかと。ミレーの祈りの画を思い出して見よう。広々とした耕地に二人の農夫が暮れゆくをさがれに祈りをささげている。赤々と水平線を染めた夕空、左に耕地に遠く入日を告げる教会の鐘の音、一日の勤勞に快い疲れ、一日俸に土に親んだ喜びに、感謝の祈りを捧げる農夫夫婦の姿の、何と幸福に見えることよ。私は、この画を日本で見えた時、山一つ見えないう大平原に自由に鋤の入れられる大地に、あこがれを抱いた。そして今その望みを得たことに幸福を感じている。今夜は新しい計画を、新しい幸福を得るための計画を立てている。慾望！それは永遠に私を心からのきぬものらしい、と一たら、私には真の幸福はいつまでも訪れて来ないかも知れない。

三、求め得たもの

私はブラジルへ来て始めて「生」の喜びを感じた。それは外でもない。蒔いた種が芽をふき、そして生長して行くのを見る時だ。種をまき芽をふき成長して行くことは当然のことでも何も不思議ではない。自然であり当然のことに喜びを感じる様になつて来た。毎日畑へ行くを見る毎に目立って成長する作物の有様。たまらなく愉快で、その柔かな葉の一枚に手を触れ、その感触に接吻したいような感覚をおぼえる時がある。暑い日など、私ののが乾いた時、彼もさぞ水が欲しいだろうと思ひ、そして幾日も晴天がつづいて作物が、ぐったり土にたおれ伏すような時、自分が暑さに敗れた様な気がして、たまらなくなる。そんな時急に雨がふつて来た程、嬉しいことはない。雨の止むのを、まち切れず畑へ行つて見ると一時間前の作物は急に生氣をとりもどし青々とよみがえる。そして踏む土の感触の快よく胸にひびくこと。日本に居る頃、父が良く云つた言葉を思い出します。よりよき農夫は畑で鋤をふることでけい、作物と話し合える様になることだ。私は今になつて父の言葉が解つて来た様な気がする。草取った父が毎日とほく／＼と田の畦を歩く姿、幸福そうなた姿は今も私の眼に浮ぶ。そして父はこんなことも言つた。私の農業辞書には「草」の字はない。ナホレンに似たようなことばだが、父の作つて居る田には草を見ることはなかつた。取った草は必ず地に埋めた。土に生れたものは土に返せという父の言つたことが、今更のよつた胸によみがえるのである。作物は天候に忠実であり土壌に忠実である。そして農業者は作物に忠実でなくてはならない。私は日本に居た頃、兄があつたので工場に働きに出していた。工場は毎日機械の音で明け機械の音で暮れた。かきられた工場内、青空のない工場の生

活、そして夜もなければ晝もない、四六時中機械と共に暮した生活を思ふは、何と云ふことしたブラジルであろう。どちらを見ても丘陵起伏、どこにも鋤り入る土地がある。すく／＼とびる作物がある。土と共に明け土と共に暮れる大地がある。あの長かった船旅の中に感じた土への愛着は今でも忘れられない。土に生れた私であつて見れば、土と共に生き、土と共に暮らすことが幸福であつて、土を愛することに幸福を感じないでどうしよう。大地は私たちの共通の母だ。私たちが暮らしている、私達を養はせ、私たちがあつたためてくれる。大地に生きたる喜びと感謝、今私はひしひしとその感謝につつまれていく。(了)

正岡冬子女史

訪日帰伯講演會

五月三十一日 夜七時より
バストス産業會館にて
主催 バストス婦人會

新入荷御しらせ

- 朝起きて..... ハミガキ 石鹼 洗面器 その他いろいろ
 - 御通学..... 学用品 各種
 - 御裁縫..... 糸 針 アイロン 其他
 - 御仕事に..... エンシャータ、フライド エンシャドン、マルティロ カバネイラ など
 - 御馳走作り..... お茶碗色々、イスピリネーフ、ホルマテカヌド、トラベツナ、ハイスペドル、ヒーレス、エスペドル、バタタ、カツサドル
 - 晩酌..... コツブ、かりせ、各種
 - 読書..... 新刊雜誌、取次格安サードス
- 多少に不拘御用命下さい
- ホント前
- 誠実 カーズ 浮
- 本位

Debulha de Milho 専門

評判の新式マキナ PENHA を使用いたしますので「仕事が早くてきれい」です

三-リヨの脱粒は
NOZAWA へ 御まかせ下さい

日曜、祭日 休みなし 夜も出張いたします

御申込みは バール水口 (水口旁) 又は

ルア カンホス オ-レス カテイア前

野 沢 一 衛

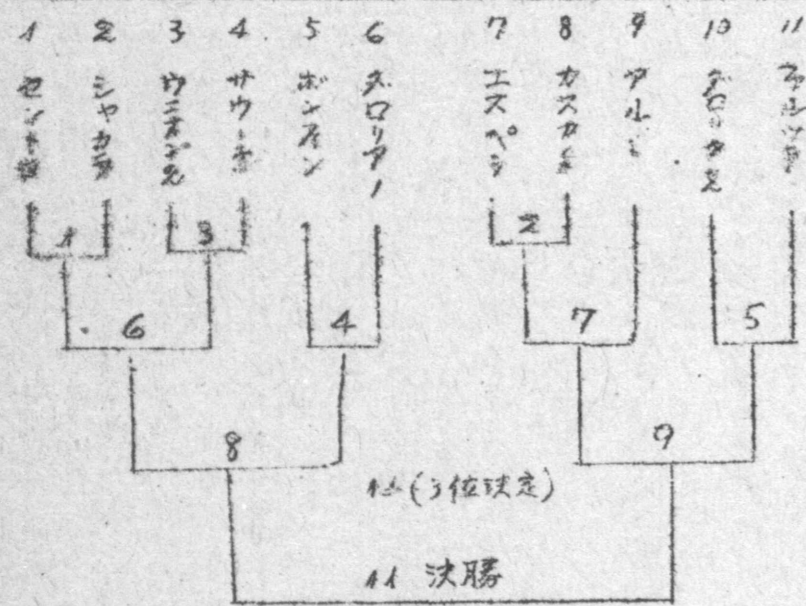


PFAFF

前田育 人

フレシテントウ ムアルガス街 268

昨年未開店の際五十七台ありましたドイツ製
プアーファア みしん は
好評のうちに出分しまして 僅かのこり 六台 となりました
非常に評判のよいミシンですが、為替の関係で、現在のところ 全然輸入されて居りません
御入用の方は、この機会をご利用されまして、早速御申込になります様申すの申上げます。



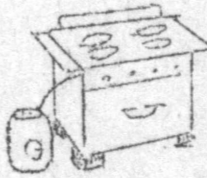
第二十五回バストス支部
対抗 野球大会迫る
十一チーム出場、決勝戦まで十一試合
第一日 八ヶ前八時開始
第二日 七ヶ前七時
第三日 八ヶ前七時 (決勝戦午後二時)

六月七日 第一、第二、第三 試合 (3)
六月八日 第四、第五、第六、第七 試合 (4)
六月九日 第八、第九、三位決定、決勝 (4)

Casa Colonia

重道商店

リキガス フォゴン
バストス代理店
火力強弱自由、使用カンタン
ケイカイ、キレイ
一度ごらん下さい



使用
強力な
リキガス

Fogão

ホゴン ターコ Fogão DA KO
パテルノ PATERNO
テッキス Tex

いよぐガスの時代となりました

ガスフォゴンで台所を明るく
時間のケイサイをはかりました